

# HiKOKI

## 取扱説明書

保証書付

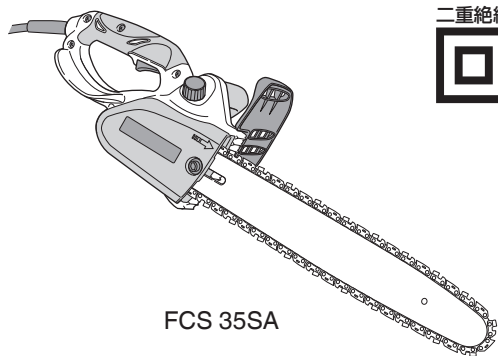
### 用途

- 木材や丸太の切断
- 庭木の枝打ち、伐採

## チェーンソー

### FCS 25SA FCS 30SA FCS 35SA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、  
ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、  
正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に  
大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	4
本製品の使用上のご注意	4
各部のなまえ	6
標準付属品	6

はじめに

ご使用前の準備	6
ご使用前の点検	7
木材を切断する 切り方の基本 / 枝落とし 玉切り / 伐採作業	9
チェーン刃の目立て	12
チェーン刃の交換	13

使い方

点検とお手入れ	15
別売部品の紹介	16
故障かな…というときは	16
仕様	17
ご修理のときは	18
保証書	裏表紙

その他

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

## **⚠警告**、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

**⚠警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

## 電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### **⚠警告**

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**  
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
  - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
  - 作業場は十分に明るくしてください。
  - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**  
電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。  
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ **子供を近づけないでください。**
  - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
  - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**  
乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

## 警告

- ⑥ **無理して使用しないでください。**  
安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
  - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
  - 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
- ⑨ **保護メガネを使用してください。**  
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**  
騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
  - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**  
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。  
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**  
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
  - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。
  - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
  - 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
  - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。

## ⚠ 警告

- ⑩6 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。  
電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑩7 不意な始動は避けてください。  
●電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。  
●電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑩8 屋外使用に合った延長コードを使用してください。  
屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑩9 油断しないで十分注意して作業を行ってください。  
●電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。  
●常識を働かせてください。  
●疲れているときは、使用しないでください。
- ⑩20 損傷した部品がないか点検してください。  
●使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。  
●可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。  
●損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。  
●スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。  
●スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ⑩21 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。  
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ⑩22 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。  
●この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。  
●修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

### ○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

# 二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に回マークで表示してあります。純正品以外の部品と交換したり、間違っで組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

## 本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、チェーンソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

### ⚠ 警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。  
表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② チェンソーを雨の中や湿気の多い所で使用したり、放置しないでください。  
感電の恐れがあります。
- ③ 使用中は、本体を両手で確実にハンドルを保持してください。  
機体のはね返りによるけがの原因になります。
- ④ チェン刃は、取扱説明書に従って正しく取付けてください。  
誤った取付け方をすると、ガイドバーからチェン刃がはずれ、けがの原因になります。
- ⑤ はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。  
けがの原因になります。
- ⑥ 肩の高さより高い位置で使用しないでください。  
けがの原因になります。
- ⑦ ガイドバーの先端部で切断しないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。  
機体のはね返り（キックバック）、けがの原因になります。
- ⑧ 使用中は、チェン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。  
けがの原因になります。
- ⑨ 他の人を 15 m 以内に近づけないでください。  
また、二人以上で作業する場合も、15 m 以上はなれてください。
  - 飛散物が当たるなど、思わぬ事故の原因になります。
  - 傾斜地などの足場が悪い場所での作業では、他の作業者に危険がないことを確認してから作業してください。
  - 呼び笛を準備するなど、他の作業者との連絡方法をあらかじめ決めておいてください。

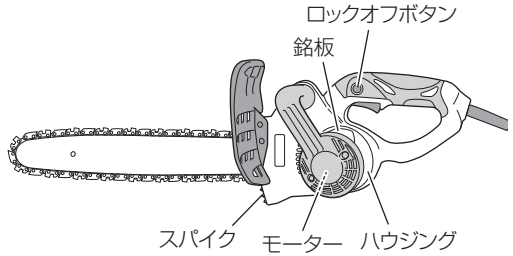
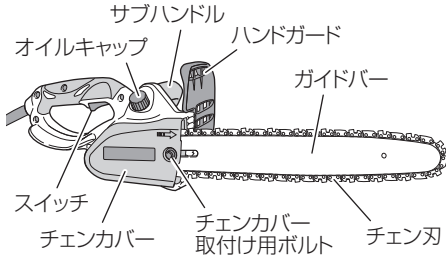
## ⚠警告

- ⑩ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。  
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑪ 誤って落としたり、ぶつけたときは、チェン刃、ガイドバーや機体などに破損や亀裂、変形がないことを良く点検してください。  
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑫ 〔事業者の方へ〕  
樹木を切り倒す作業や切り倒した樹木を切断する作業を行う場合は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。
- |      |            |           |
|------|------------|-----------|
| 関連法令 | 労働安全衛生法    | 第59条第3項   |
|      | 労働安全衛生規則   | 第36条第8号の2 |
|      | 安全衛生特別教育規程 | 第10条の2    |

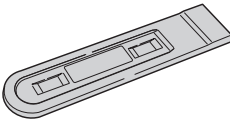


## ⚠注意

- ① 使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。  
感電の恐れがあります。
- ② 使用しないときは、ガイドバーにチェンケースをし、チェン刃がむき出しにならないようにして、お客様の手の届かないところに保管してください。  
けがの原因になります。
- ③ スwitchを入れるとき、チェン刃が材料や他のものに当たっていないことを確認してください。  
機体が引っ張られたり、戻されたりして、けがの原因になります。
- ④ 作業中は、手袋、保護メガネを使用し、履物は滑りにくいものを着用してください。  
けがの原因になります。
- ⑤ 材料に石、釘などの異物がないことを確かめてください。  
チェン刃が石などに当たると、けがの原因になります。
- ⑥ 切断材料は、確実に固定してください。また、切り落とし材に十分注意してください。  
けがの原因になります。
- ⑦ 切り落とし寸前や切断中に材料の重みで、ガイドバーが材料にはさみ込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。  
ガイドバーがはさみつけられると、けがの原因になります。
- ⑧ 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。  
けがの原因になります。

# 各部のなまえ



## 標準付属品

 チェンケース 1 個	 六角棒スパナ 1 個	 チェンオイル (50 mL) 1 個
---	---	---

## ご使用前の準備

●作業場は整頓し、明るくしてお使いください

●漏電しゃ断器の設置をおすすめします

万一の感電防止のため、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さの、できるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さと、最大の長さです。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

### ⚠ 警告

延長コードは損傷のないものを用意してください。

コードの太さ (mm <sup>2</sup> ) (導体公称断面積)	最大の長さ (m)
1.25	10
2	15
3.5	30

# ご使用前の点検

## ⚠ 警告

万一の事故を防止するため、手順 ①～④ については、電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

### 1 スイッチが切れていることを確かめる

- スイッチが入っているの知らずに電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。
- スイッチはロックオフボタンを押しながら引くと入り、はなすと切れます。

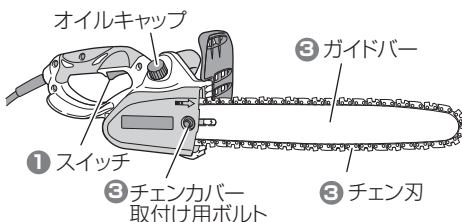
## ⚠ 警告

ロックオフボタンを押し込んだ状態で固定しないでください。

誤ってスイッチを引いたとき、不意に動き出しけがの原因になります。

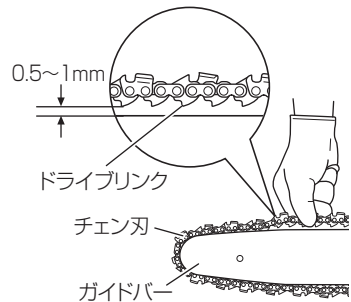
### 2 電源を確かめる

- お求めのチェンソーは 100V 用です。200V 電源に接続すると、モーターの回転が異常に速くなり、破損する恐れがあります。
- 直流電源で使用しないでください。チェンソーの損傷をまねくだけでなく危険です。

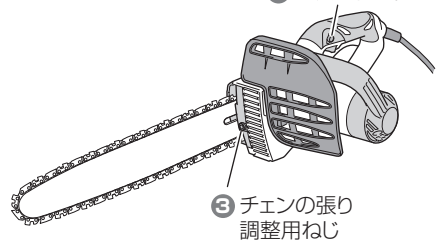


### 3 チェン刃の張り具合を確かめる

- チェン刃が適切に張られていないと、チェン刃やガイドバーを傷め、故障の原因になります。P.14 の ④～⑦ をご覧になり、適切に張られていることを確かめてください。
- チェン刃が新しい間は、特に伸びやすいので、ときどき張り具合を点検し、調整してください。
- チェンカバー取付け用ボルトの締付けも点検してください。



#### ① ロックオフボタン

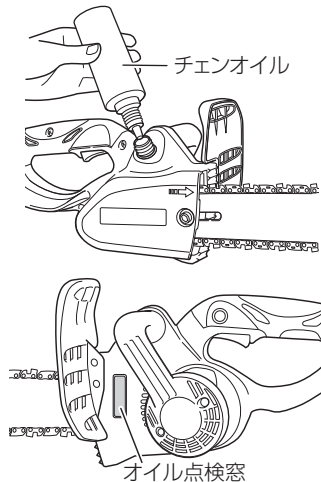




## 4

### チェーンオイルを確認する

- 本機はチェーンオイルを入れないで出荷しています。ご使用前に必ず、オイルタンクに付属のチェーンオイルを入れてください。
- 作業中もオイル点検窓から時々確認して、少なくなったら補充してください。
- 付属のチェーンオイルがなくなりましたら、別売部品の弊社チェーンソー用オイルか、市販のモーターオイル SAE 20 または SAE 30 をご使用ください。



## 5

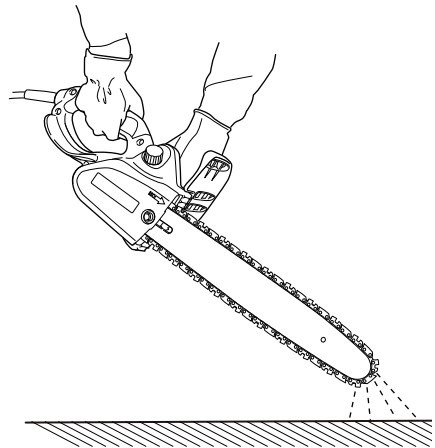
### コンセントを確かめる

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。

## 6

### チェーンオイルの吐出を確認する

- スイッチを入れるとチェーン刃、ガイドバーに自動的にチェーンオイルが給油されます。
- 2～3分回転させてもオイルが出ない場合には、オイルの吐出口回りに切粉がたまっていないか確認してください。  
(P.15「ガイドバーの掃除」参照)



- 注** ●チェーンオイルは、余分に買い置きしておくことをおすすめします。チェーンオイルがない状態で作業を続けると、チェーン刃の焼き付きや、モーター故障の原因になります。
- チェーンオイルは、指定の油を使用してください。  
油の種類によっては、プラスチック部品に悪影響を及ぼすことがあります。
  - オイルタンクにごみなどが入らないように気をつけてください。  
ごみなどの異物が入ると、故障の原因になります。

# 木材を切断する

- 切り方の基本
- 枝落とし
- 玉切り
- 伐採作業

## ⚠ 警告

- 使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。
- 使用中は、チェン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。
- 木材の下側から切込みを入れる場合、チェン刃を木材に強く当てないでください。  
機体が押し戻され、けがの原因になります。
- 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切ってください。
- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

## ⚠ 注意

- 使用中、コードを切断しないように注意してください。
- 材料は、確実に固定してください。また、切落とし材に十分注意してください。
- スイッチを入れるとき、チェン刃が材料や他のものに当たっていないことを確認してください。
- 使用中、チェン刃が別の材料や他のものに触れないように注意してください。特に、切終わりのとき、地面に接触しないよう注意してください。

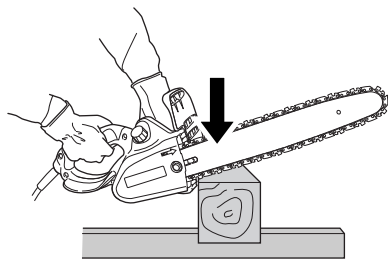
**注** オイルタンクが空にならないよう早目にチェンオイルを補給してください。

## ● 切り方の基本

チェン刃が木材に触れない状態でスイッチを入れ、チェン刃のスピードが上がってから切断を始めます。

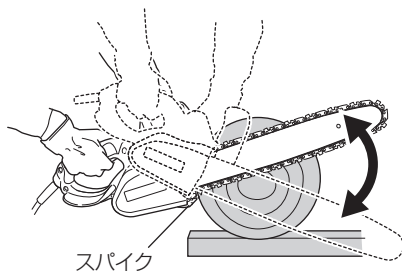
### 細い木材の切断

ガイドバーのつけ根付近を木材に軽く押しつけて切断します。



### 太い木材の切断

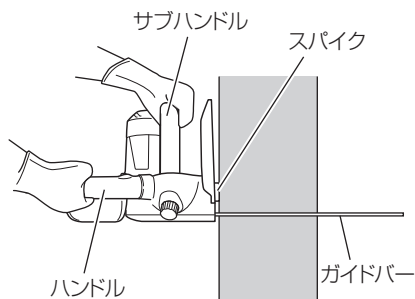
本体の前部についているスパイクを切断する木材に当て、このスパイクを支点として、テコ運動をしながら切断します。



## 木材を水平に切断

ガイドバーが下側になるよう機体を右側に倒した状態でサブハンドルの上側を左手で持ちます。

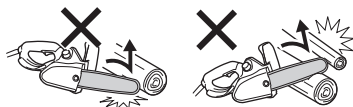
ガイドバーを水平にして機体の前部についているスパイクを木材に当て、このスパイクを支点としてハンドルを右に回すようにして切込みます。



## 警告

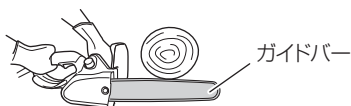
ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。

機体がはね返り（キックバック）げの原因になります。



## 木材の下側に切込みを入れる

ガイドバーの上側を木材に軽く当てます。



## ● 枝落とし

### 警告

- 落ちてくる枝から、安全に避難できるように注意してください。
- 小枝を切るときには、チェーンソーがはね返ることがありますので注意してください。

### 注意

- 地面に当たっている枝は丸太の重量を受けているので、切るときにガイドバーをはさまないように注意してください。
- 切終りに丸太がころがることもあるので、注意してください。

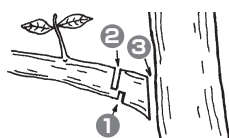
## 立ち木の枝落とし

太い枝は、まずつけ根から少しはなれたところを切落とします。

① 下側から3分の1くらい切込み、

② 上側から切落とします。

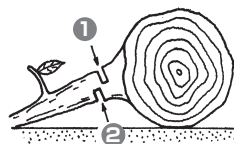
最後に、残りの部分を ③ つけ根から切落としてください。



## たおれた木の枝落とし

地面に当たっていない枝から切落とし、その後地面に当たっている枝を切ります。

地面に接触している太い枝は、① 上側から半分くらい切込み、② 下側から切込み、枝を落とします。



## ● 玉切り

### ⚠ 警告

傾斜地で作業する場合は、必ず、木材の上方で作業してください。

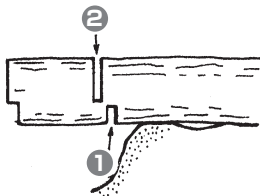
下方で作業すると、切落とした木材が転がってくる恐れがあり、けがの原因になります。

### ⚠ 注意

切断の際に、ガイドバーがはさまれないように注意してください。

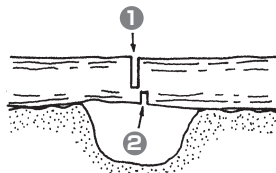
#### 先端部分の切断

- ① 下側から3分の1くらい切込み、
- ② 上側から切落としてください。



#### くぼみを利用した切断

- ① 上側から3分の2くらい切込み、
- ② 下側から切通してください。



## ● 伐採作業

### ⚠ 警告

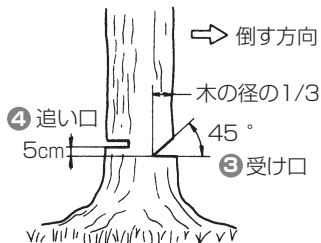
木が倒れる方向を良く確認してから、退避場所へ退避してください。

### ⚠ 注意

- 切断の際に、ガイドバーがはさまれないように注意してください。
- 傾斜地で作業する場合は、木の倒れる方向に注意してください。

#### 樹木の伐採

- ① 木の形状や周囲の状況を考慮し、木を倒す方向を決めます。
- ② 木のまわりの障害物を取り除くと同時に安全な退避場所を決めておきます。
- ③ はじめに倒そうとする側に受け口を切込みます。受け口は木の直径1/3くらいが適当です。
- ④ 受け口の反対側で受け口の下面より5cm程度高い位置より追い口を切込みます。
- ⑤ 木が倒れはじめたら、スイッチを切り、あらかじめ決めておいた退避場所へ退避します。



# チェーン刃の目立て

## ⚠ 警告

万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

## ⚠ 注意

手袋を着用し、チェーン刃でけがをしないよう注意してください。

チェーン刃の切れ味が悪くなると、モーターや機体の各部に無理をかけ、効率も悪くなります。

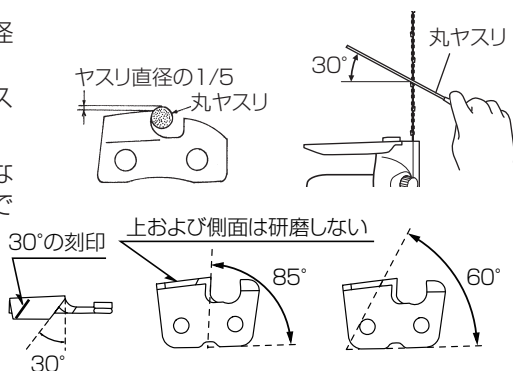
本機的能力を発揮するためには、チェーン刃をまめに手入れし、切れ味の良い状態にしておくことが必要です。

**注** 目立ておよびデプスゲージの調整は、チェーン刃を機体に取付けたまま、ガイドバーの中央部で行ってください。

## ●目立て

別売の丸ヤスリを使用し、丸ヤスリ直径の1/5をチェーン刃の上に出して、30°の角度で水平にすべてのチェーン刃をヤスリがけしてください。

すべてのチェーン刃の角度がそろっていないと、曲って切れることがありますので注意してください。



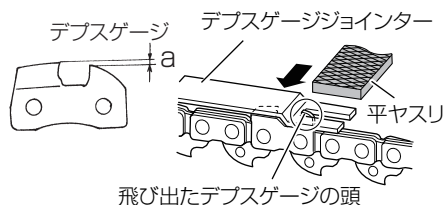
## ●デプスゲージの調整

図の寸法 a をデプスゲージと呼びます。デプスゲージは切込み量を定める重要な寸法で、本機のチェーン刃の場合は0.5 mm が最適です。

目立てをしますとデプスゲージがだんだん小さくなります。

目立てを3～4回行うごとに、図のようにデプスゲージジョインターを当て、デプスゲージジョインターの溝から上に出るようでしたら、平ヤスリでスリ落してください。

**注** この作業は別売のデプスゲージジョインターと市販の平ヤスリを使用してください。



# チェーン刃の交換

## ⚠警告

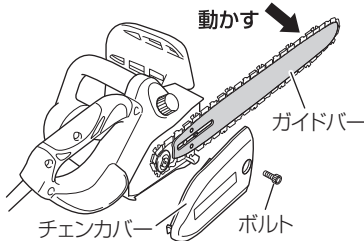
万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ⚠注意

手袋を着用し、ソーチェーンだけがをしないよう注意してください。

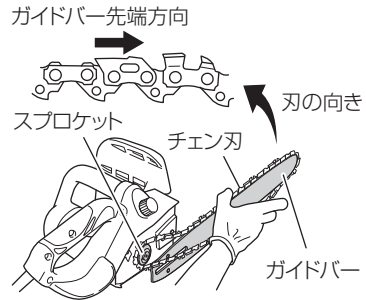
## 1 チェーン刃、ガイドバーを取りはずす

- 付属の六角棒スパナでボルトをゆるめ、チェンカバーをはずします。
- ガイドバーの先端を矢印の方向に動かすと、ガイドバーがはずれ、チェーン刃もスプロケットからはずせます。



## 2 新しいチェーン刃をスプロケットにかみ合わせる

ガイドバーの先端にチェーン刃の向きに注意してはめこんだ後、チェーン刃をスプロケットに正しくかみ合わせます。



**注** • チェーン刃の取りはずしの際には、オイル吐出口、オイル穴、ガイドバー溝およびその周辺の切粉を取除いてください。

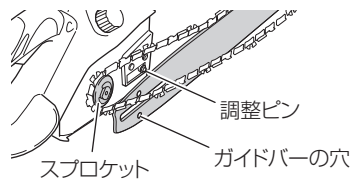
切粉などがたまっていると故障の原因になります。

- チェーン刃は仕様明記してある正しいタイプのもを使用してください。

誤ったタイプを取付けるとガイドバーからチェーン刃がはずれ、けがの原因になります。

## 3 チェーン刃をガイドバーにはめこむ

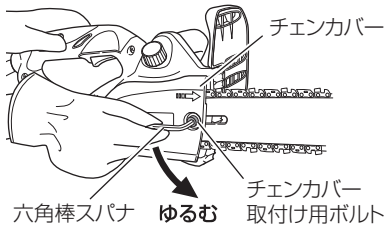
- 調整ピンがガイドバーの穴に入るようにして、本体の取付け部にガイドバーを合わせてから、チェーン刃をガイドバーの溝にはめこみます。
- チェンカバーを取付け、ボルトを軽く締めます。



# 4

## チェンカバー取付け用ボルトをゆるめる

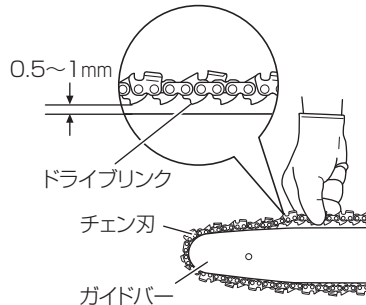
- チェン刃の張りを調整する際は、チェンカバー取付け用ボルトがゆるんだ状態で行います。
- 付属の六角棒スパナを使い、ボルトをゆるめてください。
- ボルトはゆるめるだけで、はずす必要はありません。



# 6

## チェン刃の張りを確かめる

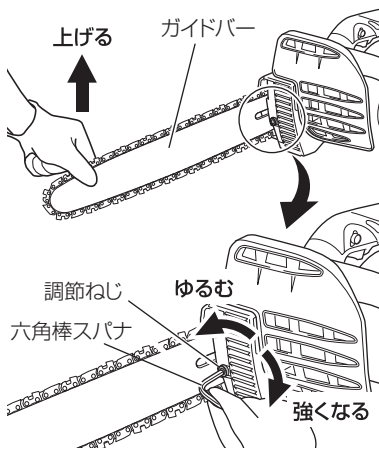
チェン刃の張りは、ガイドバーの中央付近でチェン刃を軽く持ち上げたとき、チェン刃のドライブリンクとガイドバーのすき間が0.5～1mm程度となるように調整します。



# 5

## チェン刃の張りを調整する

- ガイドバーの先端を持ち上げながら、付属の六角棒スパナで調整ねじを回し、チェン刃の張りを調整します。
- 調整ねじを右に回すとチェン刃の張りは強くなり、左へ回すとゆるくなります。



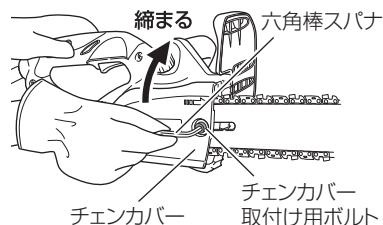
## ⚠ 警告

調整後、チェンカバー取付け用ボルトが十分締まっていることを確認してください。  
ゆるんでいると、けがの原因になります。

# 7

## チェンカバー取付け用ボルトを締める

調整が終了したら、チェンカバー取付け用ボルトを十分締め付けてください。



# 点検とお手入れ

## ⚠警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

## ⚠注意

手袋を着用し、ソーチェンだけがをしないよう注意してください。

## ● チェン刃の点検

- 時々チェン刃を点検し、異常がある場合は、P.13「チェン刃の交換」に従い、新品と交換してください。
- チェン刃の張りを点検し、正しく張られていない場合は、P.14の④からの手順で調整してください。
- 切れ味が悪くなったならそのまま使用せず、P.12の「チェン刃の目立て」を参照し、目立てをしてください。
- 使用後はさび止めのため、ガイドバーとチェン刃に十分チェンオイルを回してください。

## ● 機体の点検

各部分品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

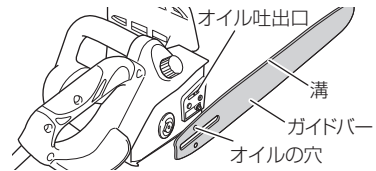
## ● 製品や付属品の保管

作業後は、チェンケースを取付け、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
  - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
  - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
  - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

## ● ガイドバーの掃除

ガイドバーの溝やオイルの出る穴に切粉などが詰まると、オイルが回らなくなり故障の原因になります。使用後およびチェン刃の交換時などにはガイドバーをはずし、溝などに入った切粉を取り除いてください。(P.13「チェン刃の交換」参照)



## ● 本体はきれいに

石けん水に浸した布でふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用がありますので使わないでください。

## ● モーターの取扱いについて

モーター(内蔵)(P.6「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

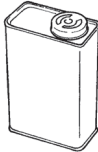
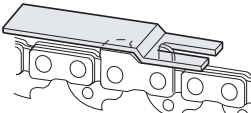
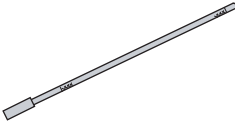
- 注**
- ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング下方の風穴から吹き込んでください。モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。



# 別売部品の紹介

販売店でお求めください。

(別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

チェーン用オイル (1000 mL)	デブスゲージジョインター	丸ヤスリ
		

## 故障かな…というときは

次の内容を点検してください。それでも直らない場合はお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

症 状	考えられる原因	処 置	参照 ページ
モーター音は するが チェーン刃が ・動かない ・動きが悪い	チェーン刃がスプロケットからはずれている	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェーン刃の張り具合を確認して、異常にゆるい場合、チェーンカバーをはずして、スプロケットにチェーン刃が正しくセットされているか確認してください。</li> </ul>	P.13
	サイドケース内に… →切粉がつまっている →異物が引っ掛かっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェーンカバーをはずしてチェーンカバー内を清掃してください。</li> </ul>	P.15
	ガイドバーの溝に… →切粉がつまっている →油が回らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドバーの溝やオイル穴を清掃してください。</li> <li>オイルタンクにオイルが入っているか確認して、なくなっていたら補充してください。</li> </ul>	P.8 P.15
切れ味が悪い	チェーン刃が… →摩耗、刃こぼれしている →さびている	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェーン刃を目立てしてください。</li> <li>摩耗や、さびがひどいときは新しいチェーン刃と交換してください。</li> </ul>	P.12 P.13
	ソーチェーンの向きが逆になっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい向きに付け直してください。</li> </ul>	P.13
	ソーチェーンの張りがゆるい	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェーン刃の張りを確認して、ゆるい場合は張りを強めてください。</li> </ul>	P.14

# 仕 様

項 目 \ 形 名	FCS 25SA	FCS 30SA	FCS 35SA
使 用 電 源	100 V 単相交流 50 / 60 Hz 共用		
チ ェ ン 刃	90 PX - 40E	90 PX - 45E	90 PX - 52E
バーサイズ (最大切断長さ)	250 mm	300 mm	350 mm
無負荷チェーンスピード	6.4 m/s		
全 負 荷 電 流	8.1 A		
消 費 電 力	770 W		
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター		
質量 (コードを除く)	2.1 kg	2.2 kg	2.3 kg
コ ー ド	2 心キャプタイヤケーブル 2 m		
オイルタンク容量	80 mL		
振 動 3 軸 合 成 値 <sup>*1</sup>	4.1 m/s <sup>2</sup> <sup>*2</sup>	4.4 m/s <sup>2</sup> <sup>*2</sup>	4.6 m/s <sup>2</sup> <sup>*2</sup>

※1: 振動 3 軸合成値 (周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値) については、  
JEMA [一般社団法人日本電機工業会]

ウェブサイト: <http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>  
をご参照ください。

※2: 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-13 規格に基づき測定しています。

# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。  
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

## 全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

### ●フリーダイヤル

 **0120-20-8822**

※携帯電話からはご利用になれません。  
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。  
※長くお待たせする場合があります。  
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、  
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに  
アクセス



バーコードリーダー機能付きの  
携帯端末より読み取ることで、  
最新の全国営業拠点をご確認  
いただけます。

# チェンソー保証書

形名	FCS 25SA FCS 30SA FCS 35SA	保証期間	本体：1年 (付属品は除く)
----	----------------------------	------	-------------------

※お買い上げ日	年 月 日	製造番号	
※お客様	お名前		
	ご住所	〒	
※販売店	住所	〒 電話 ( )	
	店名		

見本

このページは、見本となっておりますので保証書として使用できません。

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

保証期間内に取扱説明書などの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき無料修理いたします。お買い上げの日から上記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には、有料修理となります。
  - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  - (ロ) お買い上げ後の衝撃、落下あるいは移動、輸送などによる故障または損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
  - (ニ) 保管の不備およびお手入れの不備による故障または損傷。
  - (ホ) 本書の提示がない場合。
  - (ヘ) 本書に形名、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
  - (ト) 一般使用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
  - (チ) 付属品、別売部品や消耗品類の場合。
- 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
- ご転居、ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼にならない場合には、取扱説明書記載の営業本部または、支店にお問い合わせください。

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。  
(This warranty is only Japan)

## 工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)  
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)